

学習目標

- (1) 自分と身近な人々及び地域の様々な場所、公共物などのかかわりに関心を持ち、地域のよさに気付き、愛着をもつことができるようにするとともに、集団や社会の一員として自分の役割や行動の仕方について考え、安全で適切な行動ができるようにする。
- (2) 自分と身近な動物や植物などの自然とのかかわりに関心を持ち、自然のすばらしさに気付き、自然を大切にしたり、自分たちの遊びや生活を工夫したりすることができるようにする。
- (3) 身近な人々、社会及び自然とのかかわりを深めることを通して、自分のよさや可能性に気付き、意欲と自信をもって生活することができるようにする。
- (4) 身近な人々、社会及び自然に関する活動の楽しさを味わうとともに、それらを通して気付いたことや楽しかったことなどについて、言葉、絵、動作、劇化などの方法により表現し、考えることができるようにする。

月	単元・題材名	学習内容
4	○がっこ	○学校の施設や通学路の様子および学校生活を支えている人々や友達のことが分かり、楽しく安心して遊びや生活をするとともに、安全な登下校をする。
5	うだいすき	◎きれいにさいてね ◎たねをまこう、せわをしよう ◎植物を継続的に栽培して、その変化や成長の様子に気付くとともに、植物に親しみを持ち、適切な世話をし、大切にする。
6		◎せわをつづけよう
7	◎なつだ あそぼう	◎夏の公園や校庭で、身近な自然とかかわり、それらを利用して遊ぶことを通して、遊びの面白さや自然の不思議さに気付き、みんなで遊びを楽しんだり、自分たちの生活を楽しくしたりするとともに、公園がみんなで使う場所であることが分かり、安全に気をつけて、正しく利用する。
8	☆いきものとなかよし	☆身近な生き物を探したり飼ったりして、それらの生息環境や、変化や成長、生き物は生命をもっていることなどに気付き、生き物の立場ですみかや世話の仕方などを考え、生き物への親しみを持ち、適切な世話をし、大切にする。
9	○「おもちゃランド」	◎たねとりをしよう ○つくったおもちゃで友達といっしょに遊びながら、もっと楽しく遊べるように、おもちゃや遊び方を工夫し、みんなで遊びを楽しむ。
10	で楽しむ	◎たのしいあきいっぱい ◎秋の校庭や公園で、身近な自然とかかわり、それらを利用して遊ぶことを通して、秋の自然や、夏との違いや変化に気付いたり、自分たちの生活を楽しくしたりする。
11		◎つくろうあそぼう ◎身近な自然物や、身の回りにあるものを使って、おもちゃを工夫してついたり、遊び方を工夫したりして、遊びの面白さや自然の不思議さに気付き、安全に気をつけて、みんなで遊びを楽しむ。
12	○じぶん	○家庭生活について、調べたり、尋ねたりすることを通して、自分の家庭生活を振り返り、家庭生活を支えている家族のことや、家族のよさ、自分でできることなどについて考え、自分の役割を積極的に果たすとともに、規則正しく健康に気をつけて生活する。
1	でできるよ	◎ふゆをたのしもう ◎冬の校庭や公園で、身近な自然と関わり、それらを利用して遊ぶことを通して、遊びの面白さや自然の不思議さ、季節の変化に気付き、みんなで遊びを楽しんだり、自分たちの生活を楽しくしたりするとともに、みんなで使う公園などを支えている人々がいることが分かり、それらを安全に気をつけて正しく利用する。
2	○もうすぐ2ねん	
3	せい	○自分の1年間の生活や、自分でできるようになったことなどを振り返ったり、年長児と関わりを深めたりする中で、自分自身の成長や、役割が増えたことに気付くとともに、支えてくれた人への感謝の気持ちと、進級への期待感や意欲をもつ。

評価の観点

- 【生活への関心・意欲・態度】 身近な人、社会、自然及び自分自身に関心を持ち、進んでそれらとかかわり、楽しく意欲的に学習したり、生活したりしようとする。
- 【活動や体験についての思考・表現】 調べたり、育てたり、作ったりするなどの活動や学校、家庭、地域における自分の生活について、自分なりに考えたり、工夫したり、振り返ったりして、それを素直に表現している。
- 【身近な環境や自分についての気づき】 具体的な活動や体験を通して、学校、家庭、地域、公共物、身近な自然や動植物、自分の成長などの様子、それらと自分とのかかわり及び自分自身のよさに気付いている。

(評価の方法) 活動の様子 発言内容 カード 手紙 ワークシート 制作物

